

第16回： 化学物質による環境汚染の今後の動向(第2回)

開催日： 1989年12月7日～8日 / 会場： 「日本自動車会館」東京都

開催趣旨： 近年、トリクロロエチレン、ダイオキシン、農薬等の化学物質による環境汚染事例が大きく取り上げられております。(社)日本水質汚濁研究協会では、すでにこれら化学物質による環境汚染セミナーを企画し、好評を得ておりますが、前回に引き続き化学物質の今後の動向の2回目を特集します。化学物質の測定技術、化学物質の環境動態とそのメカニズム、安全性評価および健康影響評価、廃棄物問題等の解説を予定しております。

講演タイトル(講師/所属(当時)):

- 化学物質測定技術の最近の進歩(奥山典生/東京都大)
- 飲料水中の化学物質の健康影響評価(相沢貴子・眞柄泰基/国公衛院)
- 廃棄物と環境汚染(安田憲二/神奈川県公害セ)
- 化学物質の安全性—未規制化学物質に現場ではどう対処するか—(中西準子/東大)
- ダイオキシン関連物質の生成機構(安原昭夫/国公害研)
- 環境汚染物質と生体応答(渡部烈/東京薬科大)
- 大気中のフロン(富永健/東大)
- ゴルフ場に散布される農薬の健康影響に関するリスクアセスメント(盛岡通・東海明宏/阪大)
- 化学物質による海洋汚染(立川涼/愛媛大)